

## 学校概況

### 秋田県立能代高等学校

所在地 〒016-01 秋田県能代市字高埜2-1 TEL 0185-54-2230

学校創立 大正14年 4月 6日<卒業生総数 14,697名>

校地校舎 校地面積 91,711m<sup>2</sup>

校舎面積 11,431.19m<sup>2</sup>

管理棟, 教室棟, 大体育館, 小体育館, 格技場, 雨天体育館, プール, 部室棟, その他

### 教育計画

建学の精神 『一國文教ヲ以テ興リ, 一國文教ヲ以テ亡ブ』

校訓 『至誠力行』

- 教育目標
- 1 真理を追究する旺盛な精神力と広い視野に立った熱意とをもって、事に当たることのできる人間
  - 2 正義を愛し、責任を重んじ、自主的に行動できる人間
  - 3 自然に親しみ、人間を愛し、国際社会にも貢献できる協調性に富んだ、心身共に健康な人間

- 本年度目標
- 1 己を抑え、清く正しく、真心をもった生活をできるようにする。(克己誠実)
  - 2 強い進路目標を持ち、その達成に向かって、自ら求めて学習できるようにする。(自発学習)
  - 3 心と体を鍛え、本校の名声を高める部活動に積極的に励むようにする。(部活精励)

- 重点課題
- 1 実効ある65分授業の構築
  - 2 進路対策, 部活動対策の検討と具体的な展開
  - 3 教育環境の将来構想の策定と具現化

## 沿革概要

大正13.12.23	秋田県立能代中学校設立認可	昭和22. 1.30	能代中学再建同盟結成
〃 14. 4. 6	第1回入学式挙行(2学級, 秋田県工業講習所にて授業開始)	〃 22	体操部国体優勝, 小野喬個人優勝
〃 14.11.11	校舎を新築の体操場に移転	〃 23. 3.11	樽子山新校舎に移転(能代市追分町)
〃 15. 4. 1	父兄会創立	〃 23. 4. 1	新学制実施。秋田県立能代南高等学校と改称
〃 15. 5. 6	校旗制定	〃 23. 6. 1	定時制課程, ニツ井・藤琴・八森・常盤分校付設
〃 15. 5.13	校舎を新築の本館に移転。	〃 23. 9.23	再建校舎落成式挙行。校歌・校章改定
〃 15. 9.16	校歌制定	〃 23	体操部第1回インターハイ優勝, 小野喬個人優勝。体操部国体優勝
〃 15. 9.23	校舎落成式挙行(以後開校記念日と定む)	〃 25	体操部インターハイ優勝
昭和 5. 4. 1	同窓会創立	〃 26. 4. 1	男女共学実施
〃 5.10.30	校訓制定	〃 26	体操部インターハイ優勝
〃 8	校章制定	〃 27	体操部インターハイ優勝, 鈴木恪悦個人優勝。体操部国体優勝
〃 12	明治神宮大会, 体操部優勝	〃 27.12. 5	卒業生鍋谷鉄巳, 小野喬両氏ヘルシンキオリンピック出場記念として, 秋田県オリンピ
〃 16. 4. 1	学級増加となり3学級募集		
〃 17	明治神宮大会体操, 中村史朗個人優勝		
〃 19. 2.15	柔道場, 銃器庫を残し校舎全焼。長根町仮校舎に移転		
〃 20. 4. 1	学級増加となり4学級募集		
〃 21	体操部第1回国体優勝, 鍋谷鉄巳個人優勝		

## 秋田県立能代高校東京同窓会会則

- 第1条 本会は秋田県立能代高等学校東京同窓会と称する。
- 第2条 本会は能代高等学校を卒業、又は在籍したことがあり、東京および東京近郊に居住する者は、全てその入会の資格を得るものとする。
- 第3条 本会は同窓生各位の親睦と相互の繁栄を図り、以て郷土の発展と母校の興隆に寄与するものとする。
- 第4条 本会は幹事を置く。但し、人数は制限しない。任期は定めない。
- 第5条 幹事の内より、会長1名・副会長若干名・会計若干名を置く。又、顧問を置くことができる。但し、任期は各々2年とし、留任は妨げない。
- 第6条 本会の運営に当たり、事務局を設ける。
- 第7条 本会の運営一切の事項については、幹事会に一任する。
- 第8条 本会は年1回総会を開催する。
- 第9条 本会運営費は、会員の納付した年会費、寄付金その他を以てこれに当てる。但し、年会費の金額に関しては、幹事会がこれを定めるものとする。
- 第10条 納付された運営費は返還しない。
- 第11条 本会の会計年度は、毎年10月1日に始まり、9月末日を以て終わる。
- 附 則 本会則は昭和53年10月一部改正する。  
本会則は平成3年6月一部改正する。

### あ・と・が・き

みなさまの協力のおかげで、会報の発行もなんとかNo.5まで参りました。多用に取り紛れ編集に集中できず、みなさんに満足して頂けるものかどうか、自信がありません。回を重ねるにつれて、内容構成ともに少々マンネリ化しているのではないかと、反省しております。なにかいいアイデアがありましたら、教えてください。

さて、今号も昨年十月の10周年記念総会の会場の模様を中心に、ご報告することにいたしました。記念総会でもあり、例年以上に盛りだくさんの内容でした。高橋先輩の壇上に寝そべるほどの身振り手振りの混じった実演入りの講演は、大変熱のこもったもので、会場に深い感銘を与えてくれました。始めて招待の形で参加した新卒のフレッシュ・パースンたちも先輩たちの息吹に感動し、それなりの手ごたえを感じた様子でした。

レトロ趣味が今いちばんトレンドと言われて久しくなりますが、各地に「ふるさと会」や「同期会」が盛んなこともその一つの表れかもしれません。この度は、塚本・勝永・伊藤諸先輩から、写真や寄せ書きなどの資料とともに、それぞれ同期会の風景をお知らせ頂きましたので、今回は、これを紹介させてもらうことにいたしました。例年通り、郷里の各市町村からは「市町村便り」を始め、東京で行われた「ふるさと会」の模様など、貴重な資料をお寄せ頂いておりますが、残念ながら紙数の関係で、本年度は「ふるさと短信」を休ませて頂きます。今後とも、よろしくご協力のほどお願いいたします。